

みずほハイブリッド証券 ファンド2017-04 (為替ヘッジあり) (愛称：明日へのとびら1704)

運用報告書(全体版) 第6期

(決算日 2020年3月18日)

(作成対象期間 2019年9月19日～2020年3月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約3年5カ月間（2017年4月25日～2020年9月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーフンド	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド 《2020-09》の受益証券
	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-09》	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
組入制限	ベビーフンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率		
2 期末 (2018年 3月19日)	円 10,230	円 5	% 0.6	% 95.3	百万円 9,167
3 期末 (2018年 9月18日)	10,177	5	△ 0.5	98.3	8,142
4 期末 (2019年 3月18日)	10,187	5	0.1	93.1	7,337
5 期末 (2019年 9月18日)	10,155	5	△ 0.3	68.0	7,161
6 期末 (2020年 3月18日)	10,066	5	△ 0.8	14.3	6,761

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

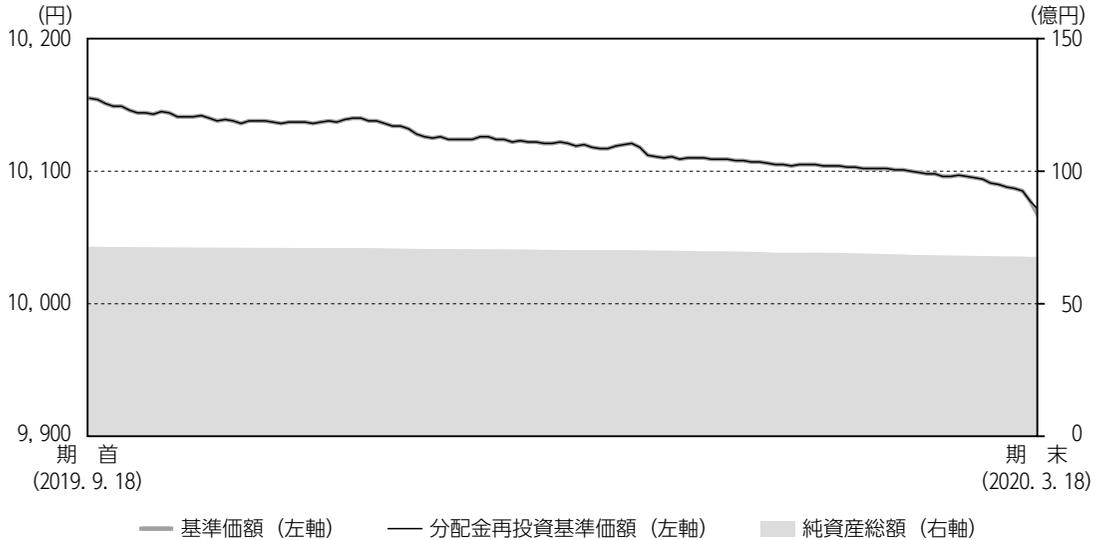
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,155円

期末：10,066円（分配金5円）

騰落率：△0.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期のハイブリッド証券市場が下落したことにより、基準価額は小幅に下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

みずほハイブリッド証券ファンド 2017-04 (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2019年 9月18日	10,155	—	68.0
9月末	10,144	△ 0.1	67.2
10月末	10,136	△ 0.2	50.9
11月末	10,124	△ 0.3	49.9
12月末	10,118	△ 0.4	45.0
2020年 1月末	10,104	△ 0.5	27.1
2月末	10,098	△ 0.6	18.4
(期 末) 2020年 3月18日	10,071	△ 0.8	14.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18)

■コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は下落しました。

当作成期首から、景気減速懸念の高まりを受け世界的に国債金利が安定したことや株価の上昇によるリスク選好機運の高まりを背景に、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。2020年2月下旬以降は、世界的なコロナウイルスの感染拡大により景気後退懸念が急速に高まり世界的に株価が急落しリスク回避機運が増大したことや、信用リスクへの懸念が急速に高まったことにより、コーポレート・ハイブリッド証券市場は当作成期末にかけて急落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」の組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行います。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18)

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」の組入比率を当作成期を通して引き下げました。

マザーファンドにおいて組み入れているコーポレート・ハイブリッド証券は順次償還を迎えましたが、その償還金の再投資先として、投資家の利益となるような適切な投資対象が存在しない状況が続きました。マザーファンドの組入比率に応じて、運用管理費用（信託報酬）の一部引き下げを行っています。

また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

保有するコーポレート・ハイブリッド証券は当初予想通りに償還が進みましたが、コーポレート・ハイブリッド証券が償還した後の再投資において諸コスト（為替ヘッジコスト含む）控除後の収益を確保できる投資対象が限られていたため、再投資を見送りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2019年9月19日 ～2020年3月18日	
当期分配金(税込み)	(円)	5
対基準価額比率	(%)	0.05
当期の収益	(円)	5
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	903

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 58.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	16.87
(d) 分配準備積立金	832.63
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	908.32
(f) 分配金	5.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	903.32

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

満期償還に向けて「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券の組入比率を徐々に引き下げる見通しです。また、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行います。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 19~2020. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0. 396%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 119円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0. 079)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0. 300)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0. 405	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

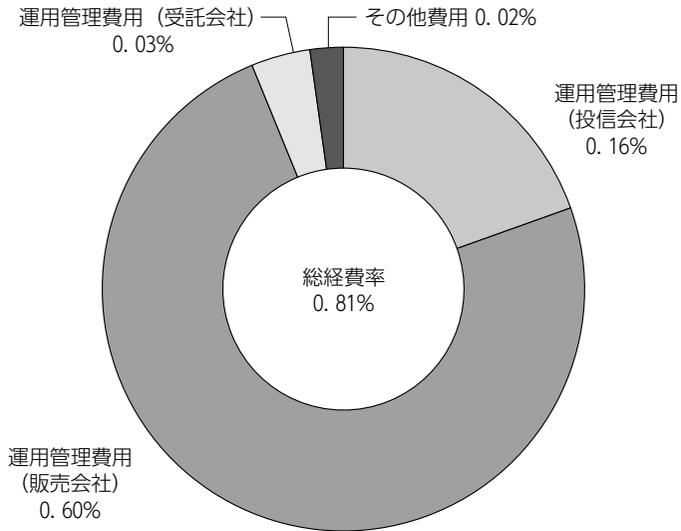
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

みずほハイブリッド証券ファンド 2017-04 (為替ヘッジあり)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月19日から2020年3月18日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>	—	—	3,466,189	3,999,404

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>	4,688,047	1,221,857	1,316,306

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>	1,316,306	19.3
コール・ローン等、その他	5,492,732	80.7
投資信託財産総額	6,809,039	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.39円、1イギリス・ポンド=130.07円、1ユーロ=118.01円です。

(注3) コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>において、当期末における外貨建純資産(2,015,409千円)の投資信託財産総額(2,053,595千円)に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,115,066,348円
コール・ローン等	5,399,441,855
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>> (評価額)	1,316,306,861
未収入金	1,399,317,632
(B) 負債	1,353,103,257
未払金	1,306,026,890
未払収益分配金	3,358,901
未払解約金	7,062,847
未払信託報酬	36,361,202
その他未払費用	293,417
(C) 純資産総額 (A - B)	6,761,963,091
元本	6,717,803,629
次期繰越損益金	44,159,462
(D) 受益権総口数	6,717,803,629口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,066円

* 期首における元本額は7,051,758,531円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は333,954,902円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,066円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月19日 至2020年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 906,868円
受取利息	25,605
支払利息	△ 932,473
(B) 有価証券売買損益	△ 19,190,887
売買益	284,024,483
売買損	△ 303,215,370
(C) 信託報酬等	△ 36,674,083
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 56,771,838
(E) 前期繰越損益金	90,241,318
(F) 追加信託差損益金	14,048,883
(配当等相当額)	(11,335,024)
(売買損益相当額)	(2,713,859)
(G) 合計 (D + E + F)	47,518,363
(H) 収益分配金	△ 3,358,901
次期繰越損益金 (G + H)	44,159,462
追加信託差損益金	14,048,883
(配当等相当額)	(11,335,024)
(売買損益相当額)	(2,713,859)
分配準備積立金	595,498,996
繰越損益金	△ 565,388,417

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:6,624,959円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	39,510,948円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	11,335,024
(d) 分配準備積立金	559,346,949
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	610,192,921
(f) 分配金	3,358,901
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	606,834,020
(h) 受益権総口数	6,717,803.629口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

5円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

運用報告書 第7期 (決算日 2020年3月18日)

(作成対象期間 2019年9月19日～2020年3月18日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
株式組入制限	無制限

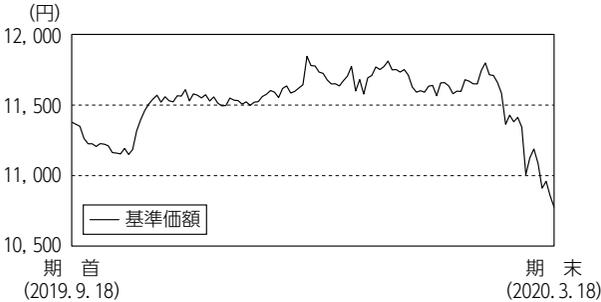
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2019年9月18日	11,378	—	91.3%
9月末	11,226	△ 1.3	95.4
10月末	11,609	2.0	92.7
11月末	11,576	1.7	90.5
12月末	11,773	3.5	90.0
2020年1月末	11,633	2.2	61.9
2月末	11,583	1.8	88.6
(期末) 2020年3月18日	10,773	△ 5.3	73.6

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,378円 期末：10,773円 騰落率：△5.3%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期のハイブリッド証券市場が下落したことに加えて、米ドルやユーロが対円で下落(円高)したことなどにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は下落しました。
 当作成期首から、景気減速懸念の高まりを受け世界的に国債金利が安定したことや株価の上昇によるリスク選好機運の高まりを背景に、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。2020年2月下旬以降は、世界的なコロナウイルスの感染拡大により景気後退懸念が急速に高まり世界的に株価が急落しリスク回避機運が増大したことや、信用リスクへの懸念が急速に高まったことにより、コーポレート・ハイブリッド証券市場は当作成期末にかけて急落しました。

○為替相場

為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から2020年2月中旬までは、為替相場はおおむね安定的に推移しました。2月下旬以降は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により世界の株価が急落し、リスク回避機運が高まったことから、主要通貨に対して円高が進行しました。欧州では、米国よりも早い段階で感染者が急増したため、欧州通貨の下落幅が大きくなりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U.K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U.K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

保有するコーポレート・ハイブリッド証券は当初予想通りに償還が進みましたが、コーポレート・ハイブリッド証券が償還した後の再投資においては、諸コスト(為替ヘッジコスト含む)控除後の収益を確保できる投資対象が限られていたため、再投資を見送りました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U.K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2019年9月19日から2020年3月18日まで)

		買付額	売付額
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外 国	アメリカ	社債券 —	(11,392)
	イギリス	社債券 —	(5,468)
	ユーロ (フランス)	社債券 —	(15,678)
	ユーロ (ドイツ)	社債券 —	(5,102)
	ユーロ (イタリア)	社債券 —	(4,295)
	ユーロ (その他)	社債券 —	(7,627)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券 —	(32,702)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	区 分	額 面 金 額	当 成 期		組入比率	うちBB格 以下組入 率	末		
			評 価 額				残存期間別組入比率		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
	イギリス	千イギリス・ポンド 7,354	千イギリス・ポンド 7,394	千円 961,867	% 46.8	% —	% 46.8	% —	% —
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ 2,700	千ユーロ 2,696	318,244	15.5	—	15.5	—	—
	ユーロ (その他)	千ユーロ 2,000	千ユーロ 1,968	232,316	11.3	—	11.3	—	—
	ユーロ (小計)	千ユーロ 4,700	千ユーロ 4,665	550,561	26.8	—	26.8	—	—
	合 計	—	—	1,512,428	73.6	—	73.6	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
イギリス	Enel SpA AMERICA MOVIL SA de CV	社債券 社債券	7.7500 % 6.3750	千イギリス・ポンド 2,773 4,581	千イギリス・ポンド 2,800 4,594	千円 364,312 597,554	2075/09/10 2073/09/06
ユーロ(オランダ)	Telefonica Europe BV	社債券	5.0000	千ユーロ 2,700	千ユーロ 2,696	318,244	永久債
国小計	銘柄数 1銘柄			金額			
ユーロ(その他)	Volvo Treasury AB	社債券	4.2000	千ユーロ 2,000	千ユーロ 1,968	232,316	2075/06/10
国小計	銘柄数 1銘柄			金額			
通貨小計	銘柄数 2銘柄			金額			
合 計	銘柄数 4銘柄			金額		1,512,428	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,512,428	% 73.6
コール・ローン等、その他	541,166	26.4
投資信託財産総額	2,053,595	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.39円、1イギリス・ポンド=130.07円、1ユーロ=118.01円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,015,409千円)の投資信託財産総額(2,053,595千円)に対する比率は、98.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	2,053,595,499円
コール・ローン等	483,360,702
公社債(評価額)	1,512,428,889
未収利息	57,805,908
(B)負債	—
(C)純資産総額(A-B)	2,053,595,499
元本	1,906,306,966
次期繰越損益金	147,288,533
(D)受益権総口数	1,906,306,966口
1万円当り基準価額(C/D)	10,773円

* 期首における元本額は7,307,686,205円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,401,379,239円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)684,449,673円、みずほハイブリッド証券ファンド2017-04(為替ヘッジあり)1,221,857,293円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,773円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月19日 至2020年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	118,777,893円
受取利息	119,815,970
支払利息	△ 1,038,077
(B) 有価証券売買損益	△ 146,772,694
売買益	59,925,304
売買損	△ 206,697,998
(C) その他費用	△ 470,535
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 28,465,336
(E) 前期繰越損益金	1,006,634,630
(F) 解約差損益金	△ 830,880,761
(G) 合計 (D + E + F)	147,288,533
次期繰越損益金 (G)	147,288,533

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。